



阿久根市立 鶴川内中学校

「キャリア教育」研究公開



研究主題

自ら学び高め合い、心豊かに、たくましく生きる生徒の育成
〜キャリア教育における資質・能力の向上を目指して〜

社会の劇的な変化の中で、生徒が希望をもち、自立的に未来を切り拓く資質・能力を高めることは極めて重要である。このことから、変化を恐れず、変化に対応する力と態度の育成を図るために、キャリア教育を軸とした教育活動を展開し、個別最適な学びと協働的な学びの充実による資質・能力の向上を目指した。

▼キャリア教育を軸としたカリキュラム編成

学校行事を主軸とし、「学力向上」、「人権教育」、「健康・安全教育」を重点とした教育課程を編成した。生徒・保護者にも(図1)のグラントデザインを示し目的を共有し、見通しをもって互いに関連付けた取組を行った。

▼年一人一回の研究授業・協働型授業研究

研究授業では、(図2)の研究の重点を共有し、学習指導案に明記して授業設計を進めた。そのため、キャリア形成に必要な資質・能力を高める手立てを授業者が明確に意識でき、他教科や領域等に関連付けた取組を行った。

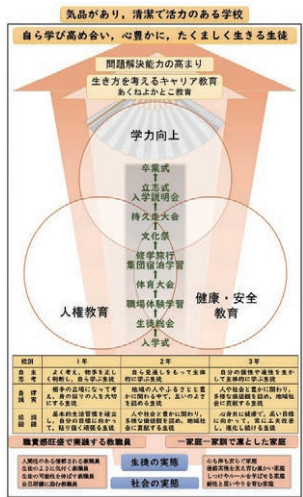
▼学びを見通す活動の充実「スコラ手帳の活用」

主体的な学びには、見通しをもつことが極めて重要である。そのために、情報を一元的に可視化し、次に何をすべきかを踏まえ、主体的に行動できるように取り組んだ。その学びの要として「スコラ手帳」を活用した。

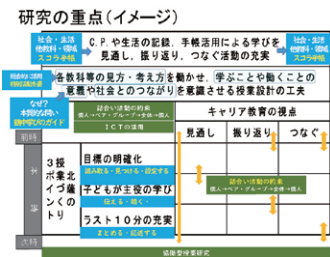
研究公開当日の研究授業(音楽科)の様子



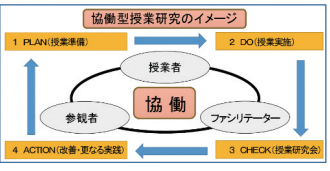
生徒がスコラ手帳に記入している様子



(図1)



(図2)



(図3)

自分の生活が、開いた時間におおむね...
スコラ手帳の活用...
1 名前、年間目標、学校行事予定を書く。
2 常に持ち歩く。いつも手元に置く。書く。
3 連絡事項等すべて記入。情報を可視化・一元化。
(1) やったことをリアルタイムでかく。
(2) 3点基本行動時間の時間軸に○をつける。
起床時間、家庭学習開始時間、就寝時間、体温
(3) 1週間(1か月)を振り返り、見通す
(4) 毎日の振り返り。保護者との連携は生活の記録。
(5) 生活記録は毎日提出。手帳は朝活動で机の右上。
(6) 教科連絡係が各教科で確認。
(7) 先生(保護者)が見ることがある。
4 書き方は自由。表紙は自由。工夫することが大事。

(図5)

スコラ(手帳)のルール
1 名前、年間目標、学校行事予定を書く。
2 常に持ち歩く。いつも手元に置く。書く。
3 連絡事項等すべて記入。情報を可視化・一元化。
(1) やったことをリアルタイムでかく。
(2) 3点基本行動時間の時間軸に○をつける。
起床時間、家庭学習開始時間、就寝時間、体温
(3) 1週間(1か月)を振り返り、見通す
(4) 毎日の振り返り。保護者との連携は生活の記録。
(5) 生活記録は毎日提出。手帳は朝活動で机の右上。
(6) 教科連絡係が各教科で確認。
(7) 先生(保護者)が見ることがある。
4 書き方は自由。表紙は自由。工夫することが大事。

(図4)

また、授業研究では、(図3)のイメージを基に、協働型授業研究をプログラムで、メタ認知

成果と課題
成果としては、まず、本研究の要であるスコラ手帳の活用により、ロードマップやマイルストーン教育を行いつつ、地域・社会とつながる探究的な学びなど、問題解決的な学習を基盤とした授業設計を継続していきたい。

課題としては、「自己理解能力・自己管理能力」の高まりがみられなかった。今後は、ストレスマネジメントやレジリエンス教育を行いつつ、地域・社会とつながる探究的な学びなど、問題解決的な学習を基盤とした授業設計を継続していきたい。

生徒が記入したスコラ手帳の一例



生徒が記入したスコラ手帳の一例

(教頭 上恭崇)